

演 題: **RNA 修飾酵素の触媒機構の多様性と
そのネットワークの環境応答**

講 師: 堀 弘幸 教授



愛媛大学理工学研究科物質生命工学専攻

日 時: 2011 年 11 月 8 日 (火) 17 時～18 時

場 所: 工学部材料・化学棟大会議室 (MC526)

要旨: DNA 上にコードされた遺伝情報は、RNA を介して、タンパク質へと翻訳されます。この時、RNA が生理機能を発揮するためには、様々な編集・加工の工程が必要です。すなわち、RNA は切断され、つなぎかえられ、メチル基やアセチル基など、様々な官能基が導入されます。21 世紀に入って、これら官能基を導入する RNA 修飾酵素群は、様々な触媒機構を持つことが知られるようになってきました。本セミナーでは、私が主に研究対象としている tRNA メチル化酵素群を中心に、その構造と機能、多様性や細胞内ネットワークの環境応答についてお話しようと思います。

連絡先: 工学研究院生物機能高分子専攻 田口 精一 (内線: 6610)